

職場の女性活躍を推進

比内町内
ふくし会
えるぼし認定「3段階目」

大館市比内町の比内ふくし会（佐藤副理事長）が、職場の女性活躍を推進する優良企業の認定制度「えるぼし」で、基準5項目の全てを満たした「3段階目」の認定を受けた。

女性活躍推進法に基づき、厚生労働大臣から2月4日付で認定された。ふくし会は社会福祉法人として特別養護老人ホームなど13事業所を運営。職員228人のうち、女性性は約7割の156人を占める。

達成した基準は▽採用▽継続就業▽労働時間等の働き方▽管理職比率▽多様なキャリアアップコース。特に、管理職の女性比率は57・1%と医療福祉分野の平均値を11・6%上回った。事業拡大とともに女

性を積極登用したほか、厚生省の子育てサポート企業「くるみん」の認定も受けるなど、仕事と家庭の両立にも力を入れてきた成果が表れた。えるぼしの申請手続きに携

わった山畠千春さんは「今まで取り組んできたことが今回の認定につながった」と喜ぶ。千葉弘樹常務理事は「今後は役員にも女性をますます登用したい」、田村秀明事務局長は「引き続き働きがいのある職場づくりを進めたい」と話した。

えるぼし認定企業は、厚生労働大臣が定めるマークを自社商品や広告、求人票などに付けてPRできる。

企業イメージの向上や公共調達で加点評価を受けられる利点もある。県内の認定企業はふくし会を含め25社となった。



認定書を手にも喜ぶ千葉常務と山畠さん
(大館市比内町)